

I 摂食・嚥下ケアとは

摂食・嚥下（食べること・飲み込むこと）機能の低下した人をサポートする一連のケアを言います。

“食事の様子をよく見て” “話をよく聴いて” 摂食・嚥下機能の低下を疑うサインに早く “気づく” ことが大切な第一歩です。

このサインの意味がわかって、初めてケアの工夫が生まれます。「食事環境」「食事姿勢」「食事介助」「嚥下体操」など、その人に合ったケアを工夫し実践していきます。

ご本人、ご家族、保健・医療・福祉関係者で協力し、安全に効果的に摂食・嚥下ケアを進めていきましょう。

